摘　　要

本邦産 *Archips* 属の再検討

ここでは，これまで1属として扱われてきた *Archips*属の種を4属に分け，*Choristoneura* 属に移される *adumbratana* を除く，3属の種についてまとめた．うち，1属は *longicellana* を type とする新属で，2新種，1本邦未記録種，及び学名訂正などを加えた．従来の *Archips* 属の種は次ぎのように分けられる．

Genus *Archips* Hb.-*purpuratus* (新種), *issikii*, *fumosus*, *crataeganus*, *xylosteanus*, *fuscocupreanus*, *nigricaudanus*.

以上の7種で，従来 *Archips* 属の typical グループとして知られてきたものである．

Genus *Archippus* Freeman.-*insulanus* (新種), *peratratus*, *capsigeranus*, *similis* (=*piceanus*), *asiaticus*, *decretanus* (本邦未記録), *breviplicanus*, *ingentanus*, *semistractus* (=*brevicervicus*), *contemptrix*.

以上の 10 種．前者とは次ぎの点で異る．Uncus はこん棒状を呈しない．Valva はより丸く，大きい．Sacculus は強く骨化し，前者のように幅広くならない．Cestum はductus bursae の半分位の長さで，欠く場合もある．

Genus *Hoshinoa* Kawabe (新属) -*longicellana* のみが属する．雄の costal fold の形態は *Choristoneura* 属に，脈相は *Planostocha* 属の範囲に所属し，雄の交尾器の形態はむしろ *Homona* 属に近い．しかし，雄の頭頂部にみられる窪みはハマキガ以外の蛾の仲間にもみられない特異的形態である．これが何の役目をはたすかは今後の検討にまちたいと思う．

Genus *Choristoneura* Ld.-*adumbratana*.

以下，種についての新知見の主要なもののみを簡単に解説しておく．

Archips purpuratus Kawabe ムラサキカクモンハマキ　雄は *issikii* に，雌は *xylosteanus* に似るが，地色に濃い紫色を加味することで区別出来る．北海道・本州山地に分布し，7月から8月にかけて出現する．

Archippus insulanus Kawabe　チビカクモンハマキ

小型の蛾で，沖永良部島，南大東島で，1月から4月にかけて採集された標本にもとづき記載した．

Archippus similis (Btlr.) マツアトキハマキ

本邦で *piceanus* として知られてきた種で，真の *piceanus* は本邦に分布しないものと考える．本種は1879年に Butler によって本邦から記載され，後に1900年に Walsingham によって再度本邦から記録されたものの，以後，正体不明のままであった．幸いヨーロッパの *piceanus* を検討する機会を得，後に British Museum の *similis* の type 標本と比較検討により，本邦で *piceanus* として扱われてきた種が，間違いなく *similis* であることが判明した．

Archippus decretanus (Tr.) コアトキハマキ

今日まで全く知られていなかったもので，飯島氏によって，北海道の標茶から採集されたものである．*breviplicanus* に非常に近似しているので，これまでも混同されて同定されてきたかも知れない．雌雄共に交尾器で容易に区別される．

Archippus semistractus (Meyr.)　アトウスキハマキ

本種は *brevicervicus* として，図説，記載されてきた種で，関東の平地に普通にみられるものである．

CORRECTION

Vol. XV, Pt. 3, p. 56, line 4 from bottom : for "The holotype will be deposited to Kyushu university". Read "The holotype will be deposited to Bishop Museum, Honolulu."